

自動ドアを設置されている建物の管理者の皆様へ

通行者の安全ガイド

NPO 法人全国自動ドア産業振興会



●故障かな？と思った時の、簡単なチェック方法

①ドアが開かない。

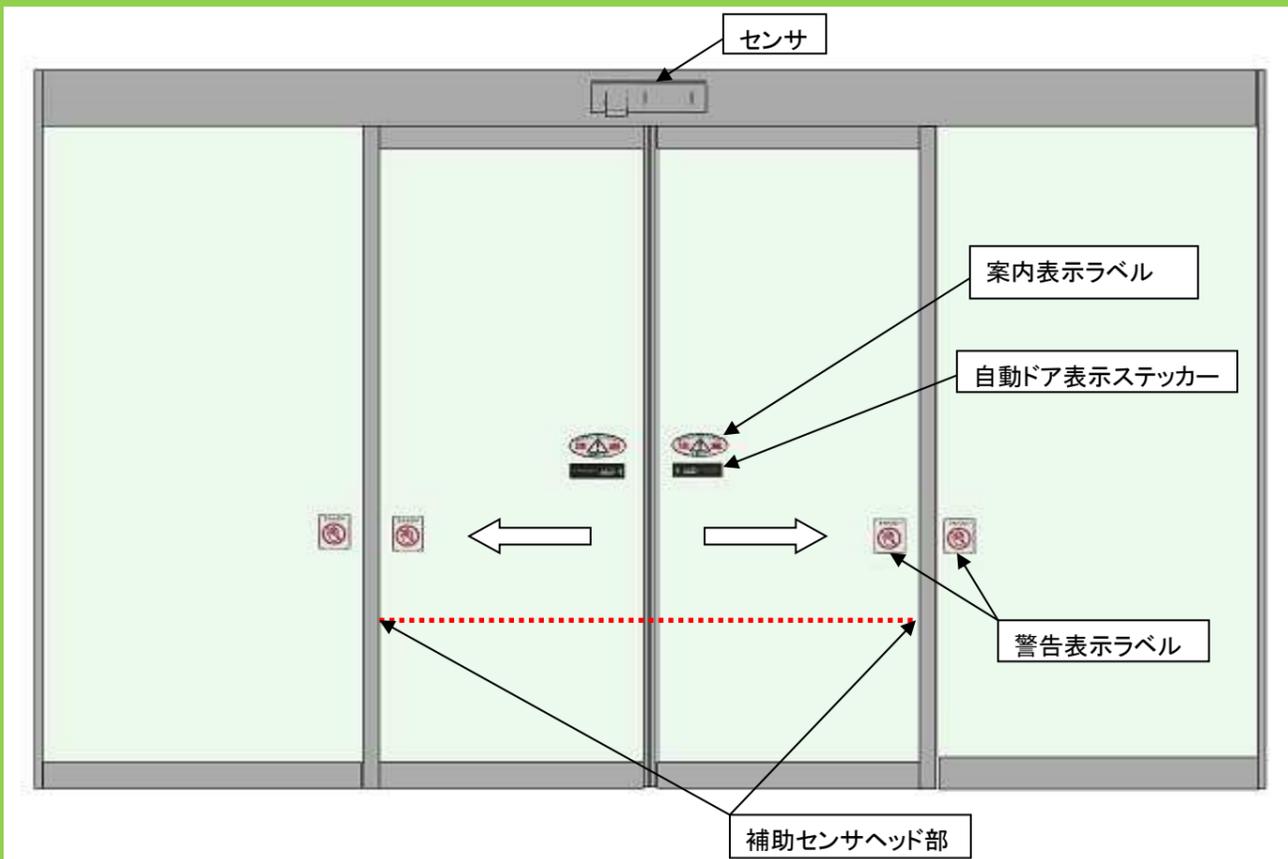
- イ 電源スイッチが OFF になっていませんか。(自動ドア本体のスイッチと壁などに設置されているスイッチが OFF になっていませんか。)
- ロ 鍵が、かかった状態になっていませんか。

②ドアが閉まらない。

- イ 補助センサ(開口部にある挟まれ防止用のセンサ)のセンサヘッド部(レンズ)に物が置いてあるか、テープなどが張られていませんか。(センサヘッド部は下図を参照)
- ロ 検出センサに水滴など付いていませんか。(検出センサ位置は下図を参照)

③人の出入りが無いのにドアが開く。

- イ センサの検出エリア内に風で動くもの、(植木・落ち葉・ゴミ・チラシなど)がありませんか。



◎ 建物管理者の皆様へのお願い

通行者の皆様にご注意して頂くために、「案内表示ラベル」「自動ドア表示ステッカー」「警告表示ラベル」などの貼り付けが必要です。ご協力をお願いいたします。

自動ドアの安全通行 事故防止の注意点

- かけ込みでの出入はやめましょう。
- 小さいお子様は、大人といっしょに出入りしましょう。
- ドアの間には、立ち止まらないようにしましょう。
- ドアが開いてから出入りしましょう。
- ドア付近で遊ぶのはやめましょう。
- ドアの斜めからの出入りはやめましょう。
- 閉まりかけのドアの出入りはやめましょう。
- 開閉しているドアに触れないようにしましょう。



NPO 法人全国自動ドア産業振興会

〒165-0031

東京都中野区上鷺宮 3 丁目 16 番 5 号 日本自動ドア株式会社 2 号館 3 階

TEL 03-3998-3077 FAX 03-3998-3121 URL <http://www.jadsa.or.jp>

全国自動ドア産業振興会は、自動ドア産業に携わる企業・個人の協力により、自動ドア装置を寄付することを主体とした社会貢献活動を行っています。

通行者の事故防止の8つのポイント

1 駆け込みでの出入りは止めましょう。

ドアはすぐには開きません。センサーが人を感知してから、ドアが開くまで、ある程度の間があります。駆け込むとドアにあたり危険ですので、止めましょう。



5 ドア付近で遊ぶのは止めましょう。

自動ドア周りで遊んでいると、ドアが閉まってきたのに気が付かずドアに接触したり、ドアに挟まれたりするおそれがあるので、止めましょう。



2 小さいお子様は、大人といっしょに出入しましょう。



小さいお子様やお身体の不自由な方、お年寄りが入出する場合は、保護者や周りの方が付き添って通行しましょう。

6 ドアの斜めからの出入りは止めましょう。



ドアの斜めからや真横からの出入りは、ドアの開閉と人の通行タイミングに遅れなどが生じて、ドアに接触するおそれがあるので、止めましょう。

3 ドアの間には、立ち止まらないようにしましょう。

人がドアの前で立ち止まっていると、ドアが閉まってきて、挟まれるおそれがあるので、止めましょう。



7 閉まりかけのドアの出入りは止めましょう。

閉まりかけたドアに無理に入出入りしますと、開くまでのタイミングに遅れが生じてドアにぶつかったり、挟まれたりするおそれがありますので、止めましょう。

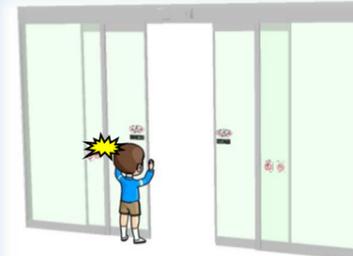


4 ドアが開ききってから出入しましょう。



ドアの開き始めに入出すると、ドアに当たるおそれがありますので、ドアが開ききってから通行しましょう。

8 開閉しているドアにふれないようにしましょう。



開閉しているドアに触れると、ドアと戸袋の間に引き込まれたり、巻き込まれて転倒したりするおそれがありますので、止めましょう。